

これからの地方自治を創る実務情報誌

1999年6月16日第3種郵便物認可
2022年2月1日発行(毎月1回1日発行) 通巻274号

月刊

ガバナンス

—「ガバナンス」は共に地域をつくる共治のこと

2022

No.250 February

2

GOVERNANCE



【自治・地域のミライ】

亀井利克

三重県名張市長

キャリサポ
特集

公共インフラの 点検術

特集

「対等・協力」

国・自治体関係の現状と展望

きょうせい

変わるか! 地方議会

249

基本条例で「政策推進会議」 の設置を規定

福岡市・北九州市の間に位置する古賀市。人口増に伴い、1977年に町から市に移行し、現在の人口は



「気候変動への対応について」の政策提言を田辺一城市長（中央）に提出する結城弘明議長（2021年11月25日）。

「政策推進会議」で調査・研究、 合意形成を図り政策提言

福岡県古賀市議会

福岡県古賀市議会は2021年11月25日に「気候変動への対応について」の政策提言を、12月15日には「第5次古賀市基本構想」についての提言を市長に提出した。特に前者は市議会の「政策推進会議」が2年余りにわたって調査・研究してきた成果。議員間討議を重ね、合意形成を図り政策提言を行うサイクルが定着してきた同市議会を取材した。

5万9499人（12月末現在）。市議会（定数19人）では2013年6月に議会基本条例を制定した（施行は14年4月1日）。同条例13条で定めたのが「政策推進会議」だ。同会議は「市政に関して重要なものについては、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため」に開催するもので、「提言として取りまとめたものについては、市長等に報告することができる」と規定する。

同会議運営要綱によると推進会議は議長を除く議員全員で構成。副議長及び各会派から選出された者で役員会を設けている。

政策推進会議では、14年度に災害時の議会対応要綱を検討し、15年3月末に同要綱及び災害発生時の議員

行動マニュアルを策定。その後、地域公共交通（17年2月に報告）、地域防災（18年6月に報告）に取り組み、19年10月からは「気候変動」をテーマに調査・研究を始めた。

各提言案に対する議員の 重要度意向調査を実施

政策推進会議ではまず、調査・研究テーマを定めるにあたって19年10月18日に2回目となる政策発表会を開催（1回目は15年10月）。6人の議員から「福岡堅樹選手の名誉市民顕彰」「公共交通」「ユニバーサルマナー宣言都市」「農林業の振興」など8テーマの発表があった。その中から役員会で「気候変動（地球温暖化）に対する対応」が選定された。推進会議では、19年12月から21年

4月まで6回にわたって研修会を開催（表参照）。先進事例（長崎県岐市の気候非常事態宣言）や地球温暖化と自然災害・熱中症対策（粕屋北部消防署）、地球温暖化対策実行計画



長崎県壱岐市SDGs未来課長による研修会（2020年1月20日）。

込み、4年単位で毎年度ローリング)の2層構造とし、同プランは予算案に付随する資料として示す予定だ。このため議会内には「総合計画の審

査はこれからが本番」との声も上がる。市議会は、この3月議会では委員会条例を改正し、オンラインでの開

催を可能とする予定。さらに、22年度には議員にタブレット端末を配備する。正副議長や政策推進会議、常任委員会の役割を任期の4年間とし

ているのも特筆される。基本条例をベースに挑戦し続ける古賀市議会の今後の飛躍に注目したい。(本誌/千葉茂明)

議会総意の政策提言は一般質問以上の効力がある

— 正副議長、推進会議の正副会長などに聞く

結城弘明議長、田中英輔副議長(基本構想審査特別委員会委員長)、政策推進会議の奴間健司会長、中野敦史副会長、特別委員会の清原哲史副委員長に政策提言、提言の手応えなどについて聞いた。

政策推進会議が2年ほど気候変動について調査・研究を重ね、21年11月に政策提言を市長に提出した。

奴間 調査・研究では19年12月から21年4月まで、6回の研修会を行った。研修の準備は大変だったが、最良の講師を招くことができ、地球温暖化を学ぶ上で非常に有意義だった。

その後、7月からは合意形成に向けた取組みで、11月22日の全体会議で政策提言の了承をいただくまでの間はかなり試行錯誤、模索をした。自由討議をやってみたが、なかなかまとまりにくい。そこで、出された提言案の3段階評価を全議員に出してもらった。それを点数化、グラフ化して見える化を図

った。そしてできるだけみなさんが納得できる絞り込みを行った。

また、グループ討議も実施。全議員が2班に分かれて行ったところ、これはまとめようがないのではないかと思うくらい意見が噴出した。それを役員会で整理し、練り上げて、やっと提言項目を絞り込んでいった。

中野 私は1期目。やはり合意形成までどこまでどうやって持つて行くのが非常に難しいと感じた。結城 大胆な政策提言で、落としどころはどうなるのかなと、ちょっと心配した。執行部から出てくる政策を質すチャンスはできたけれども、実効性の確保では議会としても責任は重い。

立派な政策提言だと記録を残し

ただけでは意味がない。これを引き継いでいくことが大事だ。

田中 議会として政策を論議する場をつくるのは非常に大事だ。今回の提言は5項目。市長のゼロカーボンシティ宣言は単なる宣言で終わっている。市の担当課は2年後くらいに具体的な環境行動計画をつくりたいと言っているがそれでは遅い。もっと前倒しにするよう求めていきたい。

清原 自由討議ではいろんな意見が出て、一つの方向性が出てくればいいが、なかなかそうもいかない。会長はとりまとめが大変だったと思う。

家庭用の太陽光パネルには以前、補助金があったが今はなくなっている。その復活も必要ではないか。

今の状況ではなかなかゼロカーボンは難しいだろう。

全議員が総意として提言する意義は?

田中 政策推進会議で課題を捉えてものを申していく、あるいは議会の考え方をまとめていく取組みは非常に大事だ。

提言に対する執行部への影響力はどう捉えていますか。

結城 議会の方から声を出す取組みを継続することが必要だ。言って終わりではない。執行部に、「また言いよる」と言われるくらいに繰り返さないといけない。それが一つの基本姿勢だ。「これは議会の合意だ。提言を重く受けとめてくださいよ」と言えば市長はやらざるを得ない。政策提言は一般質問以上の効力がある。

基本構想も特別委員会で提言を出した。

田中 今までにないような形で総合計画を作ることになって議会側には戸惑いと不満などがあつた。

それが指標や想定人口の審査に表

万人は目標でなく想定。想定人口

れていきたいことは?

人たちが、利用者は不満を抱いてい